

名古屋市 中村区 CKD 病診連携紹介状（診療情報提供書）のご紹介

慢性腎臓病（CKD）は第二の国民病として注目されています。ご自身が慢性腎臓病に該当すると
して強い不安を抱いて先生方にご相談される患者さんが増加しているものと思います。

全ての腎疾患診療の出発点は、尿検査異常と腎機能の評価から始まります。我が国は欧米諸国と
異なり、学校検尿、職場検診、住民健診などの検診が定着し、医療施設への受診機会も多いため慢性
腎臓病の早期発見に最高の環境が整備されています。

診療所の先生方と腎臓病専門医が連携することで、正確な診断に基づく最適の治療を提供するこ
とで透析療法・腎移植に至らないようにすることが目標です。

以前から中村区医師会員の先生方と腎臓病診療専門医とが慢性腎臓病対策を考える会にて、慢性
腎臓病に特化した診療情報提供書が有用だろうとの意見があり本紹介状を作成しました。

先生方の紹介状作成に関するご負担をできるだけ軽減し、患者さんの診療を担当させていただく
腎臓内科医に必要な情報を提供いただくことで、効率よく個々の患者さんに対応できます。

ご紹介いただいた患者さんの多くはご紹介元の先生に診療を継続していただきながら、時々腎臓
病専門医に受診いただくことが多いと予想しています。

中村区の慢性腎臓病患者さんがこの地で診療できることは幸せだと思っただけのような医療
環境ができることが目標です。今回の慢性腎臓病に特化した診療情報提供書の趣旨にご理解を賜り、
多くの先生方にご利用いただけますことを心より願っています。

中村区腎疾患対策検討会 代表世話人	増子記念病院 腎臓内科	両角 國男
同 世話人	日赤名古屋第一病院 腎臓内科	遠藤 信英
	名古屋セントラル病院 腎臓内科	森田 良樹
	日赤名古屋第一病院 内分泌内科	尾崎 信暁
	クリニックヘルスケアテルミナ	神谷 春雄
	谷医院	谷 能之
	高田内科クリニック	高田 統夫

名古屋市中村区 CKD 病診連携紹介状（診療情報提供書）の使い方

- この診療情報提供書は、腎疾患が疑われる患者を早期に腎臓内科専門医に受診させ、治療方針を策定することにより、慢性腎臓病の進行抑制と人工透析導入者数の減少を目指すことを目的に作成されたものです。
- 下記のいずれかの条件に合致した患者を診療した際に、専用の診療情報提供書に必要事項をご記入の上、増子記念病院・日赤愛知医療センター名古屋第一病院（なかむらにっせき）・名古屋セントラル病院いずれかの腎臓内科にご紹介ください。
 1. 40歳未満で、eGFRが60未満の者
 2. 40～69歳で、eGFRが50未満の者
 3. 70歳以上で、eGFRが40未満の者
 4. 過去3ヶ月以内に30%以上eGFRの低下した者
 5. 尿蛋白が2+以上の者
 6. 尿蛋白／尿クレアチニン比が0.5g/gCr以上の者
 7. 尿蛋白と血尿がともに1+以上の者
 8. 糖尿病があり、尿蛋白が陽性の者
- ご紹介いただいた患者については専門医が精査の上、今後の治療方針につきご報告・ご提案申し上げます。

また、この病診連携システムを使用した結果については一定の期間ごとに集計し、レター等の形式で先生方にフィードバックする予定です。
- 本紹介状は中村区医師会のホームページからもダウンロードできます。

先生方におかれましては、
中村区の腎疾患診療の更なる発展のため、また腎疾患患者のより良い生活のため、
是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中村区腎疾患対策検討会

名古屋市中村区CKD病診連携紹介状【初診用】（診療情報提供書）

下記の患者をご紹介します。ご高診をよろしくお願いいたします。

年 月 日

<紹介先医療機関>

- 日赤愛知医療センター名古屋第一病院
名古屋セントラル病院
増子記念病院

御中
先生

<紹介元医療機関>

医療機関名
担当医師
電話・FAX

患者氏名, 性別, 生年月日, 大正・昭和・平成 年月日 (歳), 住所, 傷病名, 電話番号, 紹介基準, 検査所見, 紹介後の方針, 自由記載欄

<ご紹介いただく際のお願い>

- もし可能なら血清クレアチニン（Cr）値の経時的推移をお知らせください。
受診の際にお薬手帳を持参するようご指導ください。